



上町座オープンセミナー

# レジリエント・カンパニーへの道のご案内

UEMACHI-ZA  
Open Seminar  
**Resilient  
Company**



最近、さまざまな分野で「レジリエンス」というキーワードが注目されています。

日本の企業は「レジリエンス」という考え方から何を学び、何に取り組むべきでしょうか。

このたび『レジリエント・カンパニー』を著したピーター・D・ピーダーセン氏をお招きして、

時代を超えて勝ち残る企業の原理原則や、いま日本の企業に取り組むべきポイントについて、

豊富な事例を交えてご紹介いただきます。

是非この機会に、レジリエントカンパニーへの体質改善のヒントを獲得してください。

講師紹介

## ピーター D. ピーダーセン氏

コペンハーゲン大学文化人類学部卒業後、国際シンポジウムの企画・運営に従事。ピーター・ドラッカー、アルヴィン・トフラー、マーガレット・サッチャー、ヘンリー・キッシンジャーなど、海外の著名人の来日イベントを実現させる。2000～01年、東京MXテレビ初の外国人キャスターとして、夜のメインニュースを担当。また、2000年、環境・CSRコンサルティングを手掛ける株式会社イースクエアを三菱電機アメリカ元会長の木内孝とともに設立。数百にわたるプロジェクトやコンサルティング案件に携わり、志ある経営者との協業とネットワークづくりにも取り組む。現在は、「企業と社会の協創」と「日本の将来的な社会デザイン」をテーマに講演、研修、執筆活動を行っている。主な著書に、『LOHASに暮らす』（ビジネス社）、「第5の競争軸」（朝日新聞出版）などがある。

Lecturer



1967年デンマーク生まれ、日本在住23年。コペンハーゲン大学文化人類学部卒業。リーダーシップ・アカデミー「TACL」代表。株式会社イースクエア共同創業者。日本を代表する大手企業の事業・環境・CSR戦略、コミュニケーション・マーケティング調査、人材育成などに携わる。2015年1月1日、東洋経済新報社より「レジリエント・カンパニー」を刊行。

セミナー内容

- 1 レジリエンスと企業経営を考える  
21世紀型エクセレント・カンパニーの条件
- 2 「レジリエント・カンパニー」、3つの条件と7つの行動
- 3 ダノン、ワールプール、HCLテクノロジーズ、キングフィッシャー、ナイキ、などグローバル企業の実例に学ぶ
- 4 レジリエンス・プロフィールの作成  
35問による自己診断により、自社の「経営のヘルスチェック」を行う
- 5 体質改善のためのヒント—耐性、適応力、貢献性に満ちた企業への変革のために

Seminar



対象 **経営企画** **人事部** **CSR担当部署** **マーケティング部** **次期リーダー層**

開催概要

日時:2015年3月11日(水)  
開場:14:00  
セミナー:14:30-16:30  
質疑応答、名刺交換など:16:30-16:45  
参加費:5,000円(税込5,400円)

会場:グランフロント大阪 北館 タワーC 8F  
CONFERENCE ROOMS Room C01

カンフェレンスルーム タワーCへは、1Fからしかアクセスできません。北館1F中央「ナレッジプラザ」を目指してお進みください。詳しくは下記URLをご参照ください。  
[http://www.kc-space.jp/pdf/common/accessmap\\_conference\\_C.pdf](http://www.kc-space.jp/pdf/common/accessmap_conference_C.pdf)

参加特典:講師著書「レジリエント・カンパニー」(東洋経済新報社 刊)を進呈いたします。

問合せ:株式会社mct/藤田  
mail: fujita@mctinc.jp  
tel: 06-6976-7752



上町座とは? 人間中心イノベーションの取り組みを推進すべく、株式会社mctが主催する、オープンイノベーションの会員制サロンです。